

真宗学会

◇新入会員歓迎会並びに総会

五月二十一日 於 涉成園

出席||松原学会長、藤原教授、寺川・幡谷・白井各助教授、小野・江上助手、本多恵・小林光紀各研究室員ほか学生三十名。

仏教学会

◇新入会員歓迎会 (五月七日)

一、新旧会員自己紹介および懇談

一、学会事務伝達

出席者||六十余名

今年度は新入会員として文学部に五五名、大学院に一二名を迎え、会員総数は一八七名となった。

◇「仏教学セミナー」第十一号発刊

(五月三十日)

目次

浄土について

山口 益

A・J・トインビーの仏教観

桜部 建

十随念の成立過程

僧叔の研究(下)

インド仏教への道しるべ(5)

戒律仏教

ホンコン・タイワン仏教学への望蜀の言

旅行記——現代世界の仏教に寄せる関心——

過去仏思想について

佐々木現順

坂東 性純

宮坂 宥勝

国史学会

◇昭和四十五年度新入会員歓迎史蹟踏査

四月二十八日

洛北大原方面

見学地||三千院、勝林院、寂光院、古知谷阿弥陀寺。阿弥陀寺にて歓迎会。

引率||五来教授、柏原教授、堅田助教

授、梅津講師、佐々木助手、中川囑託、参加学生六十五名。

◇史蹟踏査

五月十五日

洛北上賀茂方面

見学地||上賀茂神社(葵祭)、神光院正伝寺。

引率||五来教授、佐々木助手、中川囑託、参加学生三十四名。

◇史蹟踏査

六月十四日

湖東方面

見学地||彦根城、多賀大社並びに御田植祭、胡宮神社。

引率||五来教授、佐々木助手、中川囑託、参加学生十六名。

◇研究旅行 七月十三日(十八日)

伊豆・箱根・甲府・甲斐・信濃方面

見学地||登呂遺跡、久能山東照宮、鉄舟寺、三島大社(以上第一日伊豆長岡泊)。

願成就院、葦山反射炉箱根関所跡、同史料館、富士道場西念寺(以上第二日河口湖泊)。

甲府城跡、甲斐善光寺、武田神社、一蓮寺、茅野市尖石遺跡、同資料館、上諏訪神社、(以上第三日諏訪市泊)。

温泉寺、諏訪大社、生高足鳥神社、佐久善光寺、釈尊寺、安楽寺(以上第四日別所温泉泊)。

常楽寺、大法寺、上田下博物館、甲斐国分寺(以上第五日)上田市駅前にて解散。

引率||五来教授、佐々木助手、中川囑託、参加学生四十名。

東洋史学会
東洋仏教史学会
中国文学会

◇補導懇談会および研究例会

東洋史：五月十三日・十四日・東洋仏教史：五月二十二日・中国文学：五月十六日・大学院：四月二十四日

◇新らしく学会員となった専攻学生数は

東洋史：三十五名・中国仏教史：七名・中国文学：十四名・大学院修士：十名
各学会とも会員数は年々増加し、在学会員は総数一百四十余名に達した。

宗 教 学 会

◇新専攻生歓迎会

四月二十八日 六時 於 やまもと
本年度新専攻生：大学院博士課程：三名
・修士課程：二名・文学部：二十二名
出席者：西谷教授、坂本教授、大屋助教、古賀助手、堀尾囑託。専攻学生等、四十名。

哲 学 会

◇総会

五月十四日 於 三〇八番教室
協議事項：昭和四十四年度収支決算、昭和四十五年度予算の審議、承認。委員改選。「哲学論集」第十七号執筆者決定。学会の会員構成について。年間の事業計画について。

出席者：坂本教授（会長）ほか十三名。

英 文 学 会

◇新入生歓迎会

五月二十日（水） 於 清洲旅館
出席：福永教授、内藤助教、外、学生三十四名。
◇親睦会 於 私市ハイキングコース
出席：福永教授、内藤助教、外、学生十五名。

哲 学 倫 理 学 会

◇哲学倫理学会

哲学は五月十三日（水）、午後六時、

支隊の「やまもと」において新専攻生歓迎会を開催、二七名参加。

倫理学は六月十三日（土）、午後五時、朝日会館にて、寺崎助教を囲んで学生十四名参加のもとに新専攻生歓迎会を開催。

教 育 学 会

◇新三回生歓迎懇親会

五月十二日 於 いずもや
出席者：太田助教、大竹講師、松田助手、ほか学生二十余名。

社 会 学 会

◇新専攻生歓迎会

五月九日 於 新町菜館別館
出席者：高橋助教、池田、小笠原、河村、沢田講師、外院生三名、学生四十五名。

短 期 国 文 学 会

◇春季史蹟踏査

（四八頁へ続く）